

『令和7年度 ほくと・ななえ 医療・介護連携多職種研修会(動画研修)』

「令和6年度 函館市医療・介護連携多職種研修会～医療関係者向け研修会～」

アンケート集計結果

【函館市】

n = 49 (回収率33.3%)

閲覧回数 147件

1. 所属機関をお聞かせください。(複数回答可)

・医療機関	19	(38.8%)
・介護機関	29	(59.2%)
・教育機関	0	(0.0%)
・その他	1	(2.0%)
合計	49	(100.0%)

2. 今回の研修はいかがでしたか？

・よかった	41	(83.7%)
・どちらともいえない	8	(16.3%)
・よくなかった	0	(0.0%)
・無回答	0	(0.0%)
合計	49	(100.0%)

3. 参加いただいた方々の職種・人数をお聞かせください。(複数回答可)

・医師	0	(0.0%)
・歯科医師	0	(0.0%)
・薬剤師	8	(10.7%)
・保健師	0	(0.0%)
・看護師	7	(9.3%)
・ケアマネジャー	19	(25.3%)
・相談員	4	(5.3%)
・介護職員	25	(33.3%)
・歯科衛生士	3	(4.0%)
・栄養士	0	(0.0%)
・リハビリスタッフ	1	(1.3%)
・柔道整復師	0	(0.0%)
・鍼灸師・マッサージ師	4	(5.3%)
・福祉用具関連	0	(0.0%)
・事務員	3	(4.0%)
・教員	0	(0.0%)
・学生	0	(0.0%)
・その他	1	(1.3%)
(介護タクシー1名)		
合計	75	(100.0%)

【ご意見等】

【医療機関】

＜薬剤師＞

- ・ 実際、施設で使用している機械等含め、施設内の状況等を知れてよかった。
- ・ 自動とろみ機やパソコン連動などさらに役立つツールが増えると良い。どうしてもマンパワーが必要な職種であるので。
- ・ 特養やサ高住の状況や知りたい情報について、理解できた。今後、一緒に仕事をさせていただくこともあると思うので定期的にこのような研修会を実施いただいてお互いが仕事をしやすいようそれぞれの状況を紹介できるような情報交換会や研修会を維持していただき、地域医療の向上や貢献にしていきたい。

＜看護師＞

- ・ なかなか普段わからない施設の仕組みなどがわかりやすく説明していただき、勉強になりました。
- ・ 少ない職員で多くの入居者を見なければならぬため現場でIT化が進んでいることが伺えました。

＜歯科衛生士＞

- ・ 施設の種類や内容はなんとなく理解してはいますが、例えばサ高住といっても施設によってそれぞれで、できることできないことがあるんだとわかりました。また、退院時の説明のところで「高齢の利用者さんの家族も高齢で、理解力が落ちている」というようなお話がありましたが、全く同感です。ケアマネか相談員が同席できれば良いですね。シンプルでわかりやすい研修会でした。ありがとうございました。

＜相談員＞

- ・ 施設の空床状況と退院時期・入院期限がなかなかリンクしないことに関して、双方にもどかしさを感じていることを知り、調整の難しさを再認識できました。だからこそ日々の情報共有が重要となってくるため、今回の研修で学んだポイントを意識しながら、情報提供をはじめとした調整業務に生かしていきたいと思います。
- ・ 病院を退院した後の生活について～という視点から、退院後の施設の生活という部分をもう少し掘り下げて詳しく知りたかった。（施設の概要の説明をもう少し省いて、例えば、「急性期から退院して～」「リハビリ病院から退院して～」「慢性期からの受入れ～」「新規での受け入れと戻りでの受け入れの違い～」など、具体的な例を通して「施設側で感じていること、共有したいこと」などを聞く内容であればさらに勉強になったと思いました。

【介護機関】

＜ケアマネジャー＞

- ・ 普段よく口にして「サ高住」について改めて理解することが出来良かった。
- ・ サ高住について理解が深まった。
- ・ 施設名は分かっている内部の様子等知ることがなかったのでわかりやすかった。
- ・ 特養での介護職員、介護の負担軽減の為さまざまな新しい医療機器を使用したりしている点はとても興味がわいた。
- ・ 入所までの流れや日常生活の様子がわかりやすかった。
- ・ 動画視聴できる研修はとても助かります。
- ・ 施設の概要はや入所までの流れは知っている内容だった。その他の取り組み場面は施設それぞれに個性が出ると思いますので、そういったところにフォーカスしてほしかった。
- ・ 病院側は退院前のICを家族だけで済ませる場合もあるが、情報共有、効率化のためにもケアマネ、施設も同席すべき。

＜介護職員＞

- ・ 職員が少ない中、効率よく働くために、ベッド見守りのセンサーや自動トロミつけサーバーがあるのは、素晴らしいと思います。
- ・ 特養ホームとサ高住の違いが改めて分かりました受け入れる体制それぞれの工夫をしながら対応してる事が分かり良かったです。
- ・ 他の施設の概要情報が少し分かり良かった。

＜看護師＞

- ・ 病院関係者に見て欲しい、知ってほしい内容でした。
- ・ 施設相談員に必要な情報やアセスメントの仕方について、改めて知る機会となり良かったと思います。
- ・ 他施設の概要を知ることができ、どこまでの対応ができるのか等がわかり勉強になりました。
- ・ 利用者様のために色々な工夫を、それぞれの対場での苦労等をお察しいたします。当方も全体的にほぼ同じような対応をさせていただいているところでございます。今後の職務にとっても励みになりました。どうも有難うございました。

【その他】

<介護タクシー>

- ・ せっかく質疑応答時間があるので、登壇者二人とセンターで、事前にテーマをある程度絞り込んで欲しかったと思います。介護業界の「生産性」が医療サイドだけでなく、連携に至るまでの理解が深まらないことが可視化されたと感じました。

***多数同意あり、まとめて掲載しております。**

4. 研修会の希望について

【医療機関】

<薬剤師>

- ・ 薬剤師の介護現場への関わり

<看護師>

- ・ 他の施設のことも知りたいと思いました。

<相談員>

- ・ 医療機関から施設入所した患者様に関して実際に困ったこと等を具体的に把握したい。

【介護機関】

<ケアマネジャー>

- ・ 要介護2以外(養護老人ホーム、特養等の対象外の利用者)で生活保護の方が入れる施設
- ・ 今回以外の施設等の実態
- ・ 利用者、利用者家族と介護事業者が実際に合ったトラブルの具体的な内容。 又そのトラブルをどのように解決したか具体的に知りたい。
- ・ 困難事例などの事例発表も視聴できると助かります。
- ・ 在宅医療についての研修

<介護職員>

- ・ 介護側の研修を増やして欲しい(困難事例の対応、薬に関する知識・注意点等)介護施設はシフト制の勤務や人員不足でなかなか外部の研修に参加しづらい為、今回のような動画で見られるととても助かります。

<看護師>

- ・ 施設相談員に必要な情報やアセスメントの仕方について、改めて知る機会となり良かったと思います。

【その他】

<介護タクシー>

- ・ 就職氷河期世代の老後～自宅に家族の遺体を放置する事例をもとに検討する～

ご協力ありがとうございました。